

令和8年度 町田市立鶴川中学校 年間指導計画及び観点別評価規準

第 1 学年 教科：美術 教科書：光村図書 週時数：1.3

担当者：並木 光司

ICT 活用：画像・動画・実物投影による参考資料提示等は、導入および展開・確認のために随時行う。

学期	月	単元・章	時数	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	鑑賞 ・オリエンテーション 「ものを作る心」 「見つめ、感じ取り、描く」	1	技：身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る	思：創造活動の喜びを味わい、作品の良さや美しさ・作者の意図や工夫を感じ取ろうとしている。	態鑑：作品の良さや美しさを味わい、作者の意図を知ることによって創造活動の喜びに共感している。
	5	・人物クロッキー ・「動勢」「比率」を見取る観察力	4	知：身近な人のしぐさを全体のイメージで捉えることを理解している。 技：様々な比率の捉え方を工夫して観察に取り組んでいる。	表：人のしぐさを見つめ全体と部分との関係との関係を考え、感じ取ったことから、タッチの工夫などをして表現している	態表：感じたままにあらわすことを楽しみ、表現に取り組んでいる。
	6	鑑賞 ・身近な人たち －身の回りの生活－ ・木版画表現 表現 ・スケッチ・クロッキー・ エスキース～・木版画の下絵	1 2 3	知：彫刻刀の使い分けや堀片による版画表現の違いを理解している。 技：主題を的確に表せるように考えたエスキースをし、下絵を作成している。	思：作品から主題の表現方法や彫り方の工夫を考えている。 画面構成や使っている技法を見極めている。 思：身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にする。 作品から主題の表現方法や彫り方の工夫を考える。	態鑑：作者の表現の意図や工夫を感じ取ろうとしている。 態表：生活の中に表現の題材・主題があることに気づいて表現に取り組もうとしている。 態表：自分にとって深く思い入れのある場面を探し、より良い作品になるように工夫を考えている。
	7	・木版画 身の回りの生活－ 明暗・彫り方の計画・転写手順 理解・彫り作業	3			
	8	鑑賞 ・様々なポスター表現 表現 ・ポスターの制作 (夏期休暇課題) 〔レタリングの基本〕 ・人権ピンバッチのデザイン 〔夏季休業中の課題〕	1 1	知：効果的な伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 表：表したい人権について理解し、わかりやすい形で簡潔に表現している。	思：メッセージを伝える目的を考えながら、わかりやすさと美しさの調和など総合的に考え、表現の構想を練っている。 伝えたい内容から発想を広げ、わかりやすい形で美しく表現している。	態表：主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。 視覚を通して伝えることの楽しさに関心を持ち、構成や表現の工夫を考える。
	9	表現 ・木版画 身の回りの生活－ 彫り作業・刷り作業	3	技・知：彫りや摺りの手順を理解し、見直しをもって、刷り上がりをイメージしながら作業を進めている。	表：制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって創造的にあらわしている。	態表：創造活動の喜びを味わい、木版画で楽しく主題を表現することに取り組もうとしている。
	10	鑑賞 ・色彩の整理 表現 ・色彩見本作成 「十二色相環」 「グレイスケールとトーン」	3	知：色彩の分類の仕方を概念としてイメージし、用語を理解できている。 基本色の関係を理解して作業している。 技：理想的な混色と、むらのない色面を作って彩色作業をしている。	思：単位形の工夫をして、美しさを追求して表現している。 判：均等な色彩の変化を表現している 表：理想的な混色と、きれいな色面の彩色をする方法を考えて彩色している。	態表：色彩の分類や効果に関心を持って持っている。 色相環に関心を持っている。 態鑑：相互に形や彩色の美しさと混色の正確さを見とろうとしている。
	11	鑑賞 ・平面構成 「自然物や人工物からの構成」 表現 ・構成美の要素	2 8	知：美の要素と形や色の効果を理解している。 技：美の要素と形や色の効果を生かして計画的な構成を考えようとしている。 効果的な作品となるよう丁寧に表現している。	思：美の要素を見つけ出し、形や色の使い方や表現の工夫について話し合い、学びとっている。 思：ものの形から要素を見つけ、美の要素を意識的に活用して発想を広げ、構成を工夫している。 美の要素と形や色の効果を生かして計画的な構成を考え丁寧に表現している。	態鑑：作品から美の要素を見つけたり、美しさを確認したりしようとしている。 態表：美の要素に関心を持ち、平面に形や色で美しさを考え、表現することを楽しんでいる。
3	1	表現 ・平面構成 「自然物や人工物からの構成」 着色作業	8	技：効果的な作品となるよう丁寧に表現している。	思：美の要素と形や色の効果を生かして計画的な構成を考え丁寧に表現している。 表：美しい構成になっているか確認しながら作業を進めている。	態表：平面構成と美の要素に関心を持ち、平面に形や色で美しさを考え、表現することを楽しんで取り組んでいる。
	2					
	3	鑑賞 ・木彫作品の表現の工夫 ・日本の伝統工芸	2	知：加工や塗装で使用する用具を正しく使うことを理解している。	鑑：生活を美しく心豊かにする木の魅力に気づいている。 発：自分の感性に響く作品から発想の工夫を学ぶ。	態鑑：受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心をもっている。
評定 [300(3観点の合計)÷3=100%]				知 (100%)	思 (100%)	主 (100%)
評価方法				定期考査 (30%程度) 授業内の活動 (70%程度) ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品	定期考査 (30%程度) 授業内の活動 (70%程度) ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品	授業内の活動 (100%) ・ワークシート ・作品 ・